

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	術後再発胃癌と非切除胃癌の長期予後についての検討
	研究目的	術後再発胃癌と非切除胃癌は治療ガイドライン上同様に扱われます。またREGATTA 試験の結果より、非治癒因子を有する胃癌の減量手術は推奨されていません。しかしながら、術後再発胃癌と非切除胃癌の予後の相違については、明らかになっていません。今回、当院で胃癌切除後に再発し化学療法と施行された胃癌患者と切除不能進行胃癌とされて化学療法を施行された胃癌患者様の長期成績について比較検討しました。
	研究対象者	2007年11月から2020年3月の間に、当院で切除不能進行胃癌あるいは再発胃癌と診断され、化学療法が施行された患者様
	研究期間	西暦 2021年3月22日 ~ 西暦 2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	特記事項はありません。